

まほろば



2018.3
第199号

感染症治療セミナー

「CRPに依存しない感染症診療と外来抗菌薬の適正使用」

2月20日（火）に弘前大学医学部附属病院の感染制御センター准教授 齋藤紀先 先生をお招きして、この時期恒例の感染症治療セミナーが開催されました。

抗菌薬適正使用支援チーム(AST)による適正使用支援がこの度の診療報酬改訂で評価されたことの紹介から始まり、齋藤先生が作成された弘前大学医学部附属病院の「感染症診療と抗菌薬適正使用マニュアル」をもとに、CRPに依存しない感染症診療や外来での抗菌薬使用についてお話いただきました。CRPが高値でも抗菌薬を中止すべき場面、低値でも抗菌薬を使用すべき場面や呼吸数の測定、薬剤熱鑑別の重要性などを教えていただきました。外来での抗菌薬の使い方として、サワシリン+オーグメンチンなどの抗菌薬の併用についても教えていただきました。昨今、抗菌薬の適正使用が国家の至上命令とされるなか、医師だけでなく、我々コメディカルにも大変参考になるお話でした。今後の業務に活かしていきたいと思えます。

薬剤部・ICT：今野 慶一



感染症セミナーの様子



講師 齋藤紀先 先生

がんサロンについて

毎月第4金曜日、地域医療研修センター1階にて、がんサロンを開催しています。がんサロンは、がん患者・家族がお互いに支え合える交流の場を提供することや、がんに関する信頼できる情報提供を行うことなどを目的としています。がん治療中の方、がん治療が終わった方、またはそのご家族、他院に通院されている方など、どなたでもご参加いただけます。開催時間は14時～16時で、会場もご自由に出入りができます。

第28回目となった2月は、はじめてアロマセラピ

ストをお招きし、アロマセラピーを行いました。優しいラベンダーの香りに包まれながら、顔のスチーム浴や手浴、お互いにハンドマッサージをしながら体験をしました。参加された皆様からは「とても幸せな気分になって本当に来てよかったです。」「大変勉強になりました。」などと大変好評でした。

これからも、皆様の憩いの場所となるような企画を考えてまいりますので、ぜひご参加ください。
ソーシャルワーカー：小林 陽子



顔のスチーム浴



アロマセラピストによる講義

平成29年度 卒業式 (看護学校)

平成30年3月5日（月）63回生42名の卒業式が挙行されました。来賓の方々、病院職員の皆様、そして、63名のご家族に祝福されて卒業を迎えることができました。

藤学校長より卒業証書を授与され、さらに、今後の道しるべともなる書籍や、「与えられた環境で与えられたポジションでの使命を果たす」というメッセージをいただきました。また、3年前入学を許可いただいた佐藤前学校長より成長を願う嬉しい祝電も頂戴しました。

学校生活では、いつでも目の前の出来

事に前向きに取り組む力強さと、一人ひとり個性的でありながらチームワークを上手にとれるクラスだったと感じます。

実習で出会った多くの患者様に勇気と励ましをいただいたこと、また、たくさんの方に見守られ育てていただいたことに感謝いたします。そして、42名が与えられた以上に多くの方を見守り支援できる専門職業人となることを願います。



3学年担任：
前田 美佐子

QC活動報告会 ～私達の働き方、できることから見直そう～

看護部では、今年度、暫く休止していたQC活動を再開しました。当院は昨年の冬から外来・入院患者数が増加し、看護業務量が非常に増加しました。そのためか、基本的なルールを遵守しないことでのインシデント・アクシデントが発生し、患者さんからの要望やご意見をいただくことも度々ありました。また、看護職員から「どうしたらいいんですか？」と悲鳴があちらこちらから聞こえてきました。

そこで、NHOのQC活動のスローガン「できることから始めよう」に加え「私達の働き方、できることから見直そう」を掲げ、年度当初にQC活動再開のキックオフとなりました。

各部署では、QC活動経験者のアドバイスを頼りに、QC手法のテキストを参考にし、見よう見まねで取り組んでおりました。

全部署から12題のエントリーがあり、ポスター掲示の報告会としました。医師部門・コメディカル・事務部門の代表者に審査をしていただき、他部門の方々にも関心を寄せてもらえたことは、次年度の活動継続につなぐ糧となりました。

手術室看護師長：清野 忍

看護部QC活動報告会エントリー一覧

| No. | 所属 | サークル名 | テーマ |
|-----|----------------|---------------------|--|
| 1 | 外来A | 放科 100% | 安心して下さい、チェックしていますよ！ ～同意書の不備をなくそう！～ |
| 2 | 外来B | 外来B | 救急外来での物品管理 |
| 3 | 母子センター | 効率よくし隊 | 褥瘡の保健指導を統一し、時間短縮を図ろう |
| 4 | 3階 | 不備カルテ？ なくし隊 | 内服自己管理チェックのカルテ返却数を減らそう！ |
| 5 | 4階 | 早く帰る隊 | 申し送り短縮でスタートダッシュ！ |
| 6 | 5階 | 忘れ物なくし隊 | 退院時の忘れ物“0” |
| 7 | 6階 Aチーム | 6階病棟 Aチーム | 器材庫整理で在庫もすっきり |
| 8 | 6階 Bチーム | 6階病棟 Bチーム | 清潔な処置室で仕事をしよう |
| 9 | 7階 | 空前絶後の黒一点 | 病棟における点滴注射のインシデントを減らす |
| 10 | 手術室 | 物流管理究 張り方改革実行委員会 | SPDシールの紛失をなくそう！ 「わい！まだシールめねぐしたのがあ～」 |
| 11 | 副看護師長会A チーム | 副看護師長会 Aチーム | 一般ごみと非鋭利感染性廃棄物の分別を習慣化する |
| 12 | 副看護師長会B チーム | 紙7 | 電話連絡の重複減少を目指して！ |



輸血と血液型

輸血では、原則ABO式血液型が一致した血液を輸血する必要があります。しかし、当初は特に検査をすることはなく運任せの輸血が行われており、動物の血液を輸血していたこともあるそうです。1900年にオーストリアのランドシュタイナーが、他人同士の血液を混ぜると血液が固まることに注目し血液型を発見したことから、安全な輸血療法が普及していきました。

輸血の際問題となる血液型は主にABO式とRh式の二種類があります。皆さんもご存じのABO式血液型の割合は、日本人でA型：40%、O型：30%、B型：20%、AB型：10%です。一方、Rh式血液型では、Rh陽性が99.5%、Rh陰性が0.5%です。

輸血の際“誤って”ABO式血液型が異なる血液が輸血されると、輸血した赤血球が破壊され、命に

係わる重篤な副作用を起こす場合があります。他にも、Rh陰性の女性がRh陽性の胎児を妊娠した場合、その子どもの赤血球を壊し、新生児溶血性疾患という合併症を引き起こす可能性があります。

安全な輸血を行うために詳しい検査をおこなっていますので、採血にご協力をお願いします。

臨床検査技師：阿保 美郷



祖国オーストリアの紙幣の顔となっているカール・ランドシュタイナー

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2018年3月1日現在)

| 診療科 | 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------|----|--------------------------|---------|--------------|----------|--------------|
| 循環器内科 | | 熊本秀樹 | 横田貴志 | 熊本秀樹 | 熊本秀樹 | 熊本秀樹 |
| 呼吸器科 | | 中川英之 | 山本勝丸 | 中川英之 | 山本勝丸 | 中川英之 |
| | | 山本勝丸 | 下山亜矢子 | 下山亜矢子 | 下山亜矢子 | 下山亜矢子 |
| | | 下山亜矢子 | 森本武史 | 森本武史 | — | 森本武史 |
| | | 森本武史 | 石岡佳子 | — | — | — |
| 消化器・血液内科 | | 松木明彦 | 佐竹立 | 佐竹立 | 松木明彦 | 佐竹立 |
| | | 山口公平 | 山口公平 | 松木明彦 | 山口公平 | 山口公平 |
| | | 佐藤年信 | 飯野勢 | 佐藤年信 | 佐竹美和 | 佐藤年信 |
| | | 石黒陽 | 石黒陽 | 飯野勢 | 石黒陽 | 石黒陽 |
| 小児科 | | 杉本和彦 | 佐藤工 | 佐藤啓 | 佐藤工 | 杉本和彦 |
| | | 佐藤啓 | 岡本剛 | 弘野浩司 | 岡本剛 | 弘野浩司 |
| | | 梅津英典 | — | — | — | 梅津英典 |
| 外科 | | 柴田滋 | 山名大輔 | 柴田滋 | 山名大輔 | 三上勝也 |
| 乳腺外科 | | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 |
| 整形外科 | 午前 | 黒瀬理恵 | 秋元博之 | 秋元博之 | リウマチ外来 | 秋元博之 |
| | | 佐々木規博 | 佐々木規博 | 佐々木規博 | 黒瀬理恵 | 黒瀬理恵 |
| | 午後 | 飯尾浩平 | 太田聖也 | 飯尾浩平 | 一般外来は休診 | 飯尾浩平 |
| 脳神経外科 | | — | — | 木村正英 | — | — |
| 皮膚科 | 午前 | 熊野高行 | 佐藤正憲 | 佐藤正憲 | 熊野高行 | 熊野高行 |
| | | 佐藤正憲 | 熊野高行 | 熊野高行 | 佐藤正憲 | 佐藤正憲 |
| | 午後 | ● 予約 | ● 手術/検査 | ● 予約 | ● 手術/検査 | ● 予約 |
| 泌尿器科 | 午前 | 成田拓磨 | 成田拓磨 | 成田拓磨 | 成田拓磨 | 成田拓磨 |
| | 午後 | 検査 | 検査 | 手術 | 検査 | 手術 |
| 産婦人科 | | 田中加奈子 | 丹藤伴江 | 丹藤伴江 | ● 妊婦健診 | 湯澤映 |
| | | 湯澤映 | 淵之上康平 | 田中加奈子 | (一般外来休診) | 淵之上康平 |
| 眼科 | | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 |
| 耳鼻咽喉科 | | 西澤尚徳 | 西澤尚徳 | 休診 | 西澤尚徳 | 西澤尚徳 |
| | | 葛西崇 | — | — | — | — |
| 放射線科 | 診断 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 |
| | 治療 | — | — | 川口英夫 (午後) | — | 川口英夫 (午後) |
| 女性専用外来 | | 杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療) | | | | |
| セカンドオペニオン | | — | — | — | 今充 | — |

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

退院の 握手やさしく あたたかく

(チロル)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>